

12月8日(日)

農業屋コミュニティ文化センター

- 9:30 ~ 開場
- 10:00 ~ 開演
- 10:00 ~ 人権図画ポスター表彰式
- 10:30 ~ 映画「wonder 君は太陽」

<お問合せ先> 人権・男女共同参画課

電話: 53-4017 fax: 22-3533

世界中をしあわせの涙に包んで、興収320億円超えの大ヒット!



ジュリア・ロバーツ オーウェン・ウィルソン ジェイクブ・トレンブレイ

やさしさの半分は
勇気できている。

wonder
ワンダー 君は太陽

定員500人
(先着順)

wonder
ワンダー 君は太陽

ごく普通の10歳の少年オギーは、生まれもった疾病で、人とは違う顔をもっていた。幼いころからずっと母イザベルと自宅学習をしてきた彼は、小学5年生になって初めて学校へ通うことになる。いじめや裏切りなどの困難に会い、幾度もしげそうになりながら、家族の愛を勇気に変えて立ち向かうオギー。やがて、彼の行動によって同級生は少しずつ変わっていく。オギーだけでなく、周りの友達、姉、姉の親友たちの事情を描きながらハッピーエンドへとつなげていく感動作。

6月15日(金) TOHO シネマズ日比谷ほか全国ロードショー
キノフィルムズ
Motion Picture Artwork © 2018 Lions Gate Entertainment Inc. All Rights Reserved.

人権週間→12月4日~12月10日

人権文化
フェスティバル
松阪
2019

入場
無料

2019年度人権図画ポスター入選作品



松江小学校 1年
吉村 拓真さん



天白小学校 3年
北村 倅右さん



西中学校 1年
岡本 愛梨さん



三重中学校 2年
鈴木 花菜さん



殿町中学校 2年
歌川 風舞樹さん

小学生の部
入選5作品



港小学校 4年
西川 真央さん



伊勢寺小学校 6年
前川 心音さん



第四小学校 6年
吉村 采莉さん

中学生の部
入選5作品



殿町中学校 2年
大澤 陽菜さん



三雲中学校 3年
鎌田 悠那さん

12月14日(土)

中川コミュニティセンター大集会室

●13:00～開場

●13:30～開演

開会行事～人権作文、
図画ポスター表彰式

●14:00～講演会

トーク&手話ライブ
共に生きていこうとする気持ち

講師 わた なべ 渡辺 りえこ



<お問合せ先>嬉野地域振興局地域振興課 電話：48-3800 fax：42-6220

12月19日(木)

飯高地域振興局 2 階大会議室

●18:30～開場

●19:00～開演

ゴスペルシンガー Hanna (ハンナ)
によるトーク&ライブ

ゴスペル音楽で人権を学ぼう

講師 ぶん や はん な 文屋 範奈



<お問合せ先>飯高地域振興局地域振興課 電話：46-7111 fax：46-1092

12月21日(土)

飯南産業文化センターホール

●13:30～開場

●14:00～開演

青少年健全育成ならびに
人権に関する作品募集
入選者表彰式

●14:30 頃～映画 (93分)

こどもしよくどう こどもしよくどう



<お問合せ先>飯南地域振興局地域振興課柿野出張所 電話：32-2004 fax：32-2559

講師プロフィール

(サインシンガーソングライター)
兵庫県神戸市出身。両親共に耳が不自由だった為、3歳の頃から手話を使いこなして家族を支える。阪神淡路大震災で被災。手話を使い両親を支える姿がテレビや新聞などで伝えられ反響を呼ぶ。その後、お天気キャスター、手話通訳、歌手などの活動を経て、歌とともに手話で音楽を表現する「サインシンガーソングライター」という独自のジャンルを確立。現在は1人でも多くの人に温かい気持ちを届けられたらという想いのもと全国各地でトーク&手話ライブを行っている。

講師プロフィール

大阪生まれ、16歳で単身アメリカに渡る。1994年ミネソタ州立ムアヘッド大学マスコムニケーション学部卒業。在学中の難民保護活動にきっかけに「人間の安全保障」を軸にいた平和づくりを研究する。ジョージワシントン大学大学院安全保障研究科卒業。病気をきっかけに世界平和に加え「心の平和」を考える。幼少から親しんだゴスペル音楽が、数々の人々の平和への希求から生み出されたことを改めて知り、音楽を通して平和を伝えるべくゴスペルシンガーに転身。国内外のライブ活動に加えて、学校公演やゴスペルの歴史と歌を交えた人権や男女共同参画の講習を行っている。国際関係コメンテーターとしてもラジオ&TVにも出演。

映画 こどもしよくどう

貧困や育児放棄に苦しむ子どもに食事を提供する食堂を題材にしたヒューマンドラマ。
団らんと離れなくなってしまった子どもたちと、両親が営む食堂に招いて食事をふるまう少年の交流を見つめる。